

教科名〔 数学 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
数学I(口)	4単位(イ・ロ計)	1学年 全クラス	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>中学数学の内容を復習し、基本的な計算力を身につけさせる。</p> <p>方程式と不等式では公式を理解させ問題を確実に解けるように計算力を養成する。</p> <p>三角比の基本的内容を理解する。</p> <p>三角比を用いた図形的問題を解けるよう応用力を養成する。</p> <p>図形の計量では面積と体積について具体的に理解させる。</p>
使用教科書・副教材等	<p>使用教科書 : 数研出版 「改訂版 高等の数学I」</p> <p>副教材 : 数研出版 「パワーポイント数学I」 「数学 のクルーノート」</p>

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特 記事項 2. 副教材の使用 など	考查範囲	評価の観点の ポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	(中学校数学までの復習)	4 ・ 5	中学校数学までに学んだ基本的な内容を復習し、高校数学に必要な計算力を身につける。	<課題プリント>	1 学 期 中 間 考 査				
	第1章 方程式と不等式 第1節 数と式 1. 計算の基本 2. 文字を使った式 3. 単項式と多項式 4. 多項式の加法と減法 5. 多項式の乗法 6. 展開の公式		文字を使って様々なことがらを表すことができるようになる。 式を整理できるようになる。 指数法則を理解する。 3乗の展開公式を利用できるようになる。 乗法公式を利用した応用問題を解けるようになる。	<課題プリント> 教科書 P6~17 副教材 P1~20					
第1学期	7. 因数分解 (1) 8. 因数分解 (2) 9. 根号を含む式の計算 10. 実数	6 ・ 7	基本的な因数分解ができるようになる。 たすきがけ用いた因数分解や、置き換えによる因数分解ができるようになる。 根号の基本的な性質を理解し、計算や分母の有理化ができるようになる。 数の拡張について理解する。	<課題プリント> 教科書 P18~28 副教材 P21~33	1 学 期 期 末 考 査				

第2学期	第3章 図形と計量 第1節 三角比 1. 身近な三角比 2. 三角比 3. 三角比の値 4. 三角比の利用 5. 三角比の相互関係	9 ・ 10	直角三角形の基本的性質を理解し、正弦・余弦・正接の定義を理解する。 三角比の相互関係を理解し、利用することができる。 三角比を用いた文章題を解くことができる。	<課題プリント> 教科書 P84～96 副教材 P66～70	2 学 期 中 間 考 査				
	第2節 三角形への応用 1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積	10 ・ 11 ・ 12	正弦定理・余弦定理を理解し、利用することができる。 三角形の面積の公式を理解し、問題を解くことができる。	<課題プリント> 教科書 P97～103 副教材 P73～76	2 学 期 期 末 考 査				
第3学期	4. 鈍角の三角比	1 ・ 2	鈍角三角形の基本的性質を理解し、鈍角の正弦・余弦・正接の定義を理解する。	<課題プリント> 教科書 P104～107 副教材 P71～72	学 年 末 考 査				
	第3節 図形の計量 1. 相似な図形 2. 球の表面積と体積	3	相似な図形について面積比・体積比について理解し、利用することができる。 球の体積と表面積の公式を理解し、問題を解くことができる。	<課題プリント> 教科書 P109～116 副教材 P77～78					
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業で用いたプリントやノート、副教材の問題集、課題プリント等の提出を定期的に求める。									
【1・2・3学期における評価方法】 授業中の態度や取り組み、提出物、考查の結果などを基に、総合的に判断する。									